夕刊 磐城新聞
十二月二十日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六十五錢（郵稅拾五錢）
廣告料金 普通欄一行金六拾錢 特別欄一行金九拾錢（場所指定一行一圓）
編輯印刷兼發行人
發行所 福島縣石城郡平町 磐城新聞會社
（日曜祭日翌日休刊）

在京の友より

寒風生

五

△△に時々行くか？君のおふくろとおやぢによろしく、そう／＼今年で政府からの君への捨ブチが止まるわけだつけね、歸去來……

十一月二十四日

×

亂筆は先づわびておく、東京にも冬が來た、田舍の冬を想像する、君んちで正月のもちをたべたつけ、皆ンな大きくなつたゞらうね

正月には歸る、二日が休みだから一日夕刻行つて二日の夕方歸京する、となるだらう、未だはつきりはせんが、此仕事にも嫌氣がさした、と言つて別の仕事も一寸ないし、昨日は學校を休んだ今日も休む！學費は完全に足りないし、オーバをどうしやうかと思つて居る少しのゆとりもない此の生活に人間味のほどんとないのが悲しい、全ての仕事がそうかも知れないが、親のスネをかぢつてる中が一番樂しいね、一文の仕送りもなしに學校へ行くなんて大それた考へだ、君、何んな係をやつてるんだい、まさか年賀募集でもあるまいね—と、俺も何か寄稿でもやらうか、井上や榊原はどうしてゐる？俺の此の月の持紙は一八五から一五減紙だ、責任不履行で四圓半の辨償だ。女にとつて男は丁度、男にとつて女がそれであるやうに魔物だね。俺はいつの間にか色魔になつてる、此んな顏してもはゝゝゝッ！でも大物でも掛からねば、月謝も足りないけど五・一五事件から有閑マダムの檢擧、不良校長の檢玉子がどんな結婚生活をしてその後に來るものは君の商るか調べてほしいね。Sは賓と○○の○のクビ問題だせおい！。時に昔の女々が夢の樣に浮んで來る。一週間もゆつくり遊んで來たいが？人間萬事慾だ！冬が來ると俺の仕事は嫌だね、もう殆んどペンを取る事もしないし、劍を取る事も出來ない。一体どうした事かと思ふが困つたものだ、暇があつたら□丁目の○○多美技と向ふ鎌田の○○の娘八重どうした、どうしてる。此の店に來る者は皆滿足に出た事がない、ほどんと全部が『しゆつぽん』してゐる、夜逃げだ、もう慣れてる、事に本店ぢやさうだ、俺が行つてから八九人は逃げ出してゐる。滿足に出たのは俺の居る分店からタッタ一人、君も知つてるMだつて二十枚のテンプラ、不良カードを作つて逃げたわけだ、これであゝさうかと肯づけるだらう・まあ俺なんか珍らしいね、今度は終の月で減るのは仕方ないんだが・を賣つたせいもあるんだ。では又、たよりを待つ、あまりコタツは毒だせ、何とかうねむいんだらう……十二月二日

新門と女房

柳町陽二

（五）

——勿論、親分、親分の爲めなら決して一つ二つの命を惜む樣な俺達ぢや御座んせん なアみんな

見分達はうなづいた

——そうか、俺もこの身体ぢや途中でまいるかも分らねい、だがおめいらにその決心があるなら將軍樣に立派に御奉公が出來ると言ふもんだ

辰五郎はやつと五萬兩運搬の大役を引受ける決心をした

——ぢや親分は、やつて呉れるつて言ふのかい

女房はやつと安心が出來たのか思はず微笑した

——ほんとに勘辨しておくれ、あんな惡たいついてすまなかつたね

——なあに、おめいだつて俺の男を思へばこそだ、それに將軍樣の御恩をおめい迄そんなに思つてゐて呉れるかと思ふと俺あこんな嬉しい事ぁない

そう言つて辰五郎は起き上らうとしたが、うまく行かなかつた

——起きるのかへ

——む、久しぶりでな、だが腰に力がなくなつちやつて……

そう言ひながら女房に助けられて床の上に起き上つて布團に身体を寄り掛けて休んだ

——親分、大丈夫かね

流石は女の、辰五郎の身体を氣遣ふ女房だつた

——なあに大丈夫だ、俺にあ觀音樣が付いてるんだから……

と辰五郎も強いて苦しさを押しかくしてゐた

それから二日の後、手筈萬端殘りなく整つて病後の新門辰五郎は女房に助けられて旅仕度をしてゐた

——隨分やせたね

手甲がユルんでゐるのを女房は氣付いて直したりして、仕度は出來た

◇〜〜◇

愛讀者懸賞抽籤

十、十一、十二月三ヶ月分の本紙購讀料領收書と引替に抽籤券一枚を呈上。以上三ヶ月分の前納には新舊讀者を問はず抽籤券即時呈上

一、抽籤 明春一月四日
一、發表 同六日本紙上

賞品

テーブルゲーム 一面宛

一等特大形（一名） 二等大形（二名）
三等中形（三名）

藥積の間

せ ん

○家かげの積藥の間の窪たみに埃かづきて雪消のこれり

○年廻り惡しきを父は氣にしつつ成田不動に詣でむといふ

渡邊德雄

○藏まへの梅の古枝にはつはつに花つくれども雪の殘れり

○雪のころ家かげ畑にあをあをと鉾立ちそめし葱を見にけり

○伐りすぎてうら寂しかる孟宗竹の幹に粉をふく春さりにけり

潮聲俳句選後に

赤羽松堂

私の俳句の信條は自然を諦觀し生活に是即し平明にして餘韻のある句である槪念的や理智的技巧に囚はれた句は共鳴出來ない勢選句にあたつてもその觀念で批判することになります故に

冬されや目立ちて赤き茨の實

もゑさかる煖爐に足をくみにけり

海鳴りを遠く聞く夜の時雨かな

麥蒔や晝の月ある山の畑

時事

冬に入りて匡救工事始まれり

のやうな句を第一によいと思ひました、それに反して

置く霜に幾度か堪えて落葉せり

懷手して錢湯のもどりかな

藁深く豚の聲沸く寒さかな

可愛兒の旅を思ふや夕時雨

渡舟おくれ時雨晴るゝ間を待ちゐたり

初宿直冷めたき雨の夜なりけり

の如き概念的の所產や理智的の傾向ある句はよろしく自然の懷に飛び込み素直に物を見たい、私は斯樣に信じて居ります 妄批多謝

社會の今日

12月21日 △能が及び佐渡に檢非違使を置く（元祿元）△俠客國定忠次處刑（嘉永四）△金製品の輸出を禁ず（昭和六）△新潟縣糸魚川町に大火あり四百二十戶全燒（同七）

○

釣瓶繩につく／＼と見る胼手かな 溫亭

そそくさと街は師走の雪ぐもり、寒鮒うりの聲とほりゆく 太田水穗

講談

幕末神風組

(82) 土生太郎作 高根秀浩畫

殺陣往來（四）

御木本九平太がいら立つて打ち込んだ棒の鋭さ、常人ならば無殘に肩骨を打ち碎かれてゐるところだ

間一髮！体をかはした淺野隼人は

『落ちつきなされ、さう周章てなさるには及ばぬ』

聲も態度も、兩者格段の相違である。淺野が落ちつき拂つて居れば落ちついてゐるほど、御木本の心は落ち付きを失ひ、只、焦々と焦燥して來るばかりであつた。一旦はたゝらを踏んだ御木本であつたが、体を立て直すと、再び遮二無二打ち掛らん氣配である

『何故、周章てなさるか、今日は晴れの一騎打ちぢや落ち付きなさい、ま、兎に角あれなる松林へ——』

淺野は先に立つて歩き出した、とそれより一間程遲れて御木本がいま／＼しさうに從いて行く

先刻の若者と中村、それに何時かかむつてゐた手拭を除つた常陸屋佐吉とがこれに續く

それを又、取り卷くやうに見物の野次馬がついて行く、その形々した。だが人氣は淺野隼人のものである。もつともそれには、地盤が淺野のものであつたからかも知れないが、御木本の傲岸な態度がさうさせたことは否まれない

『八丁堀の先生は豪い、どうだあの落ちつき拂つたところは……そして何といふ男らしさだ。あんなに相手が無茶に働きかけて來ても……が、見てゐるがいゝや今にひとたまりもなくあの浪人者の首が斬り落されて了ふせ』

見物人の腹は等しくかうであつた、そして憎々しげに私語き交す言葉が、御木本の耳底にひた／＼と打ち寄せて來た

『おのれッ！』

幾度か飛躍しようとした腕だが、淺野が餘りにも自若としてゐるので、どうにも打ち込む隙がなかつた。

やがて辿りついた松林、なるほど一騎打ちには屆竟な場所である

龍虎は其處で始めて向き合つた

『……』

『……』

討つか、討たれるか、二つに一つだ。自づと身の引き締つて來るのを覺ゆる

其の周圍を遠卷きに見物が取り卷く、中村も佐吉も若者も、不安さうに、又氣色ばんでぢつと兩者を見成る

恰度その頃である

御木本に從つて來てゐた彼の乾下とも覺しき町人風の男が、此の騷ぎを外に築地をさして懸命に道を急いでゐた

一散走りといふ奴だ、足が地につかぬ程である。行き交ふ人が、何事かと思はず立ち止つて、後見送るほどであつた

先刻まで、御木本につき從つてゐたのが、一同が松林へさして動き出した、その騷ぎにまぎれて驅け拔けて來たものと見える

築地へ——築地へ——首領の危機を報ずべく、此の韋駄天走りなのだ。彼は淺野と御木本の腕の差をよく知つてゐた。此のまゝ成り行きに任せて置いては危ない

只一筋に彼は築地へ築地へと急ぐのであつた

今にも倒れさうな息苦しさ、然し彼の勇氣を振ひ起させるものはまざ／＼と腦裡に描き出される首領危難の光景である、淺野が拔いたら終りだ。淺野の劍が一度鞘走れば萬事休すである如何に御木本が自慢の斜眼流の棒を振り廻したところで、それは到底太刀打ち出來るものではなかつた

それをよく知つてゐる男の内心は氣の毒なほど焦り立つて、今にも倒れさうな息苦しさを耐へて、ひた走りに驅けぬけて行くのであつた

社員招聘

一、集金販賣係 五名
經驗の有無に不拘小學卒業以上身元保證人アル廿二歲以上五十歲迄

一、見習社員 二名
小學卒業十六歲以上の男子 但シ會社住込ミ勤務

平町田町通り
シンガー裁縫機械會社支店

森下の歲末年始大特賣出し

期間 八年十二月廿二日ヨリ 九年一月四日マデ

此際五十錢御買上毎に……御土產菓子入大袋呈上……

桐羽子板 十五錢
五吋ゴムマリ網入 十八錢
百人首一組 十五錢ヨリ
フートボール六吋 十錢
（其他何品ニヨラズ二割引）

森下玩具店 平町一丁目 電話三九七番

腕提掛置時計
眼鏡新型
指輪
ビクター コロムビヤ 特約店
正月新譜入荷

金光堂時計店 電一九五

歲末も愈々押し迫つて參りまして、非常時日本が更に非常時をつぐるの感を呈してゐます。此の秋に際し弊店こと微力ながら、お客樣本位として……よく備つた店、買ひよい店、確實な店をモットーとして聊か擴張を圖りました 尙眼鏡部にも最も衛生的な檢眼室の設備をなし簡單に眼鏡の精品をお上げすることが出來るやうに致しました。

歲末から年始にかけて、之ら各種品を全部景品付で奉仕し、皆樣の御滿足に添ふつもりで居りますから是非一度御來店の程を御待ちして居ります……。

十二月十五日

平町二町目 **根本** 時計眼鏡部 電話六〇七

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
㊇ **釜屋商店**
磐城國平町五丁目 電話九九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は㊇の生命なり

開業披露
小兒科專門 附內科
志賀醫院
平白銀町十番地（前伏見町長跡）電話（呼出）六五〇番

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡） 電話五五九番

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平町・九品寺前

ひろい沙漠を
はるばると
駱駝に乘つて
キャラバンは
雪を踏みふみ
通つてくる

キングレコードが皆樣に贈る
拾貳月新譜中傑作流行唄

會田時計店
四丁目 電三六三

眼科專門
賀澤眼科
平町南町 電話七二番
診療時間 每日 自午前八時 午後九時迄

生徒募集

入學每月初日
（此の際入學者は隨時入學を許可す）
ミシン無料貸與（材料貸與の方法もあり）

磐城女子洋裁專門學院

奧樣方の爲め持に隨意科が設けられてあります。
每日定期に通學の出來ない方々の爲の回數券制度……

平町白銀町十五番地
（詳細…學則郵券二錢）

師團長宮を迎へ奉り 光榮に輝く磐陽の天地

明廿一日(午後零時五十六分)平驛御着

第二師團長東久邇宮殿下には既報の如く明二十一日午後零時五十六分の上り列車にて平驛御着ホームにて

貴衆兩院議員、縣會議員、青沼町長、山崎在郷軍人會石城郡聯合分會長

等に單獨拜謁を賜はり、磐炭重役岡部正樹氏其他多數の御出迎へを受け倉茂參謀、南部武官、畑山知事、渡警察部長等扈從御召自動車により驛前及町沿道に堵列の町内官民、各學校生徒、其他各種團体等多數奉迎裡に一路内郷村磐城炭鑛に向はせらる

御召自動車にて 磐炭淺野記念館へ

社の現況を御聽取

光榮に輝く此日の磐城炭鑛では午後一時十五分菅原所長、濱崎事務部長が綴驛跨線橋下に御出迎へ申し上げ殿下には跨線橋を渡御、鑛業所傍を御通過

鑛業所員一同及勞働者代表(記念館脇道路)綴坑及工作課關係を除く主任以上並從業員將校(館玄關前)戰死傷軍人遺族(館内)

の堵列奉迎裡に淺野翁頌德記念館に成らせられ貴賓室にて御少憩此間岡部取締役より炭鑛情勢事業、概況言上、開館式記念品等を奉呈し記念館前にて記念御撮影約二十分間、一時三十五分記念館御發綴驛より御召自動車にて國道を藤棚より右折坑口下にて御下車綴坑及工作課關係職員一同堵列奉迎の裡を綴坑事務所に成ら

金枝玉葉の御身を以て 御親ら坑内深く御視察

産業御奬勵の畏き御思召

綴坑事務所階上貴賓室にて御少憩の 殿下には畏くも御上衣御召替の上岡部重役、菅原所長、湊坑長御案内の下に前記扈從諸官と共に昇降機に御身を托せられて六百二十尺の同坑底に降り立たせられそこより六十間の二御右三片及更に四十間の奥深く北三半上りエンドレス坑道の採掘現場を御視察遊ばされて御出坑々外選炭場及各作業場を臺覽の上記念御撮影、再び事務所樓上貴賓室にて御召替へ午後二時四十五分一同奉送裡に坑口下より御乘車白水國寶阿彌陀堂に向はせらる

白水から 平町 還御

住吉屋御投宿

午後三時十分御豫定の御視察を了せらるゝ 殿下には三時三十五分平町住吉屋本店御着御投宿あらせらるゝ御豫定に拜承す

奉迎者位置

平驛頭の各種團体 平驛頭奉迎者の位置左の如し

(東側)在郷將校會一〇、在郷軍人會五〇、老兵會二〇、青年訓練生五〇、計一三〇

(西側)行政區長、消防組、驛飾會、青年團、平婦人會、女子青年團(以上四百餘名)磐女三二、藤田一二、平陽八、看護婦四

○、計一六二

訓盲院二、平第二—五六計五二〇餘

(南側)磐中五〇、平商二〇、佑賢、青年一二、平第一—五〇、平第三—三三

御安產祈願

けふから第二校で

第二校では今二十日朝會の際全校兒童を校庭に集め新皇子御誕生の皇后陛下御安產を左の次第で默禱申上げた

一、國旗掲揚、二、君が代合唱、三、默禱、四、遙拜

尚この行は御吉慶の日まで續けられると

高麗橋實測

平町八

所では今二十日實測を行つた

○。○。○。平各學校長會 今二十日午前十時半から第一校に會合奉迎に就いて協議した

門松御遠慮

各官衙學校で決定

在平各縣立學校及び官廳では宮中喪に就き縣廳に準じて新年の門松は遠慮申上げると

計熱器檢査

各町村日割決定

郡下の体温計並に寒暖計の檢査は左記日割により明後二十二日より開始する

△二十二日午前九時より午後二時迄(四倉役場)四倉、大野、大久、大浦、草野、久の濱

△二十三日(平警察署)平

△二十四日(同)神谷、夏井、飯野、平窪、上小川、下小川、澤渡、三坂、永戸、箕輪

△二十五日(湯本公會堂)湯本、内郷、磐崎、玉川、鹿島、江名、小名

△二十六日(植田役場)植田、泉、錦、渡邊、上遠野、山田、勿來、川部、田人、荷路夫、石住、貝泊

小名濱魚市場町營 計劃

一昨日急施町會で決議

小名濱町では十八日午後二時から急施町會を開き魚市場町營問題を附議したが先に町會議員一同が神奈川縣三崎及び銚子港の魚市場視察の結果に基いて町營を可とするに決し漁業組合の同意を得るため明廿一日委員小濱長太郎氏外八名が交渉する事になつた

平婦人會 補助申請

內容充實を圖る

昭和三年十一月御大禮記念として創立された平婦人會は其後百方勸誘の結果現在では會員七百餘名に上り婦人の修養生活改善に努めて居るが來年度は愈々内容の充實を圖るべく昨十九日町役場に補助金八十圓を申請した

○。○。○。産組設立協議 郡内の産業組合は現在二十六ケ村に及び着々好成績をあげて居るが飯野村では明廿三日神谷では廿四日夫々役場に於て設立協議會を開き具体案を考究すると

運動場の擴張に 地主畧れ不承諾

第三校の委員躍起となる

平第三小學校では九級室增築に伴ふ第一、第二兩校兒童の分割收容で運動場の狹隘を告ぐるに至つたので同校南側四百二十九坪を擴張すべく過般來六名の關係地主に對し一坪三圓の割で買收交渉を進めて來たが諸橋氏一名の外容易に纏らず新學期も漸く切迫したので極力左記五氏に對し急速に交渉を開始する事になつた

(五丁目)酒井常吉(新川町)諸橋國松(播槍小路)長谷川浩太郎(南町)山下芳久(横濱市)齋藤又三郎代理大谷直次郎

總會再た紛紜?

極めて險惡な空氣を孕む 平町料理屋組合

金子福藏氏外六常任幹部の合議制を一蹴された平料理組合幹部では種々對策を協議の上來る二十三日總會を開く事になつたが合議制を主張する幹部と依然組合長制を固執する六十名組員等の對立で相當の紛紜を豫想されて居る

○。○。○。三小學打合會 今二十日午前九時半から第一校應接室に參集左に就き協議 學校內規改正、一月行事 講成教育講習會開催

來日曜廢休

平局の現金取扱

平局では來る二十四日が日曜日、二十五日が祭日で平常なら窓口現金取扱は爲ぬ日であるが年末に際し公衆の利便を圖り二十四日は特に平日通午後四時迄取扱ふと

奉迎送注意

磐炭で全山へ配る

磐炭では今十九日左記注意書を全山に配付した

從業員各位に謹告

第二師團長東久邇宮稔彦王殿下には畏くも産業の御奬勵と國民御愛撫の御思召より來る十二月二十一日午後一時我磐城炭鑛淺野翁頌德記念館に台臨遊ばされ、次で御親しく綴豎坑内採炭作業及坑外選炭作業等の實況を具さに御視察遊ばさるゝ事になりました我磐城炭鑛にとつては空前の光榮であるばかりでなく地方一般の譽しく無上の光榮とする處であります

從業員各位に於ては此の光榮に輝く記念すべき日に當り心から敬意を表し奉り苟も不敬にわたる等の事なき樣心掛ねばなりません

尚左記の事項を特に御注意下さい

一、來る二十一日は全山每戸國旗を掲揚すること

二、業務は休まぬやうに精勵せよとの御示達がありましたから休業せざること

三、作業場に御成りになつた時、又は御通りの節は謹しみて御敬禮申し上ぐること

四、奉迎奉送は代表者を以てする事にし代表者は指名致します

逆行の故障自動車 避難の二女兒を死傷

昨日好間街道の椿事

昨十九日午後二時頃好間村小館吉之助長女好間小學校三年生大友ミネさん(一〇)同操長女石島ハルヨさん(一〇)の兩名が同村古河鑛業所に通ずる勾配約六十度の小館坂にさしかゝつた際前方から故障の爲逆行して來た白菜二百四十貫滿載の東白川郡竹貫村大字竹貫三友商會吉野柳吉方運轉手丹野榮作(三二)の貨物自動車を避けるべく電柱の蔭に身を寄せた處自動車は電柱に激突前記ミネさんはその下敷となつて頭蓋底を骨折最寄り病院で應急手當を加へたが間もなく死亡、ハルヨさんは兩腕に全治二週間の打撲傷を負ひ目下手當て中であると

採掘高打合

三大炭鑛主腦會議

三大炭鑛に於ける明年度の採掘決定額打合會は今二十日東京中央亭に於て開催、山元から左記主腦部が出席した

(磐炭)菅原所長、筒井運輸課長(入山)吉田所長、大貫副所長(古河)下野所長、安孫子經理係主任

○。○。○。高坂校職員會議 内郷村高坂校では昨十九日放課後

兄(九つ)が彈き妹(七つ)が唄ふ

最初の虐待防止法違反 平署の目に止まる

昨十九日午後一時頃寒さに慄へ乍ら平町大町通りを兄が馴れぬ手つきで破れ三味線を彈き、妹は廻らぬ舌で歌を唄ひ乍ら門つけして居るのを平署員が署に連行事情をきくと兩名は茨城縣西茨城郡北中村生れ鈴木三郎(九)マス子(七)で實父が現在好間村に居て毎日酒びたり—このいたいけな兩人に酒代を稼がせて居る事が判明最初の兒童虐待防止法違反として實父を召喚處罰する事になつたと

盲教費補助

完全な磐城訓盲院

縣下各盲啞學校では本年度に於ける教育費並に設備費として文部省から補助金を交附されたが今年は特に設備補助が新たに交附された、磐城訓盲院の交附額は教育補助四百二十七圓、設備費三百六十八圓で設備費金額は縣下最低右に就き理事梅崎氏は

これで我が訓盲院が最もその設備に於て他に優つてゐる事が分ります

と語つてゐる

光榮の人々

(淺野記念館及綴坑事務所樓上御少憩中奉仕)菅原所長令孃美代さん(一七)、鑛業所給仕飯塚玉枝さん(二七)、羽田みや子さん(一九)、近藤磐中教諭夫人(坑内捲運轉手)鈴木勝次郎君、(同助手)竹内四郎君

健保藥劑師

左記各氏はこの程縣から健康保險藥劑師として指定された

鈴木堅助、關内榮助、山野邊東次郎、瀨尾善之進(以上平町)比佐倉之助(湯本)大友新一、鷲沓(植田)

不正受驗發覺

平機關庫助手神谷村生れ鈴木榮一は東京鐵道教習所入所試驗を受くるに當り係官に對し不正手段に出でんとした事發覺水戸檢事局に檢擧された

○。○。○。圖書巡回期間 福島縣立圖書館文庫巡回中本郡關係左の如し

十二月二十日=來年一月十九日田人、荷路夫

二月廿日=三月十九日貝泊

三月廿日=四月十九日石住

五月廿日=六月十九日上遠野

空巢覗ひが最多

用心を喚ろ其筋の統計

防犯週間に際し平署で調査した昨年度中の窃盜犯發生時間別は午前は九時から十時、午後は七時から八時迄が最も多く、その手段別としては空巢覗ひ、萬引の順で最も少ないのは破藏側壁破り窓忍込み、平場(スリ)などである、尚年齡別に見れば二十一歳から二十五歳が最多を占めて居ると

救世軍X

目前に迫つたクリスマスに就て平町の各教會は目下その準備に大童であるが白銀町の救世軍平小隊では二十三日午後六時半より左のプログラムに依り盛大に行ふ

(軍歌あさひはのぼる)(聖書朗讀)小野寺邦夫(祝禱)高木會計(報告)遠藤少尉(賞品授與)小隊長槐大尉(おはなし)槐大尉(軍歌もろびとこぞりて)(挨拶)渡邊ユリ(合唱のどかなるに)幼年科(對話汝の敵を愛せ)男子少年科(アクションソングうるはしきあさも)女子幼年科(合唱主よわれと共に)男女少年科(バラット人形の家)幼年科(對話禁酒少年)男子青少年科(合唱かひぬしわが主)女子少年科(對話ヤコブの夢)男子青少年科(バラッドエデンの園)女子青少年科(對話聖誕)男女青少年科(頌榮)

○。○。○。凍傷豫防訓話 第三校では今二十日朝禮に衛生容儀檢閲を行ひ凍傷あかぎれの豫防法手當法に就て校長の訓話があつた

放送文藝懸賞募集

日本放送協會では放送種目の清新を期し本年四月第一回の放送文藝懸賞募集を行ひラヂオドラマ、浪花節、新民謠、物語等の入選作品を發表し賞讃を得た實績に鑑み今回第二回の募集を企て左記三つの作品につき懸賞募集を發表した

一、ラヂオドラマ—四百字詰原稿用紙五十枚程度

一、ラヂオ風景—原稿枚數に制限なく、放送所要時間一時間程度共に清純明朗のもの

賞 當選五篇內一等五百圓他は一篇二百圓宛

一、新小唄—一篇五分程度の放送時間を必要とする家庭向の清純明朗のもの

賞 當選十篇內一等一篇百圓他は一篇五十圓宛

條件 自己の創作一人一篇に限る昭和九年二月十日限り住所氏名を明記し封筒に放送文藝と表記の上東京市麴町區內山下町市政會館日本放送協會宛に送付の事

募集規定 應募者心得は仙臺放送局へ申出あれば送付す

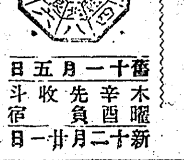
○。○。○。お披露目 榮家から富治さん、二十五歳、溌い盛りの中年增とある

○。換刑 內鄕村大字內町字水の出五五吉田福次郎(三五)は去る九月職業紹介取締法違反で平區より略式罰金三十圓を言渡されたが未納の爲昨十九日換刑處分せられ今二十日平刑務所に收容三十日間の勞役を命ぜられた

四倉通信

○。○。○。鷄鳴會例會 四倉町鷄鳴會では昨十九日午後六時半より四倉本町青年會館に於て第二十回例會を開催した(協議題)珠算講習會終了新年互禮會並に神社參拜(談話題)過去一ケ年の回顧、來年度の計畫

○。○。○。築港人夫捕はる 四倉町字新町鈴木茂重方居住仙台市生れ庄司重太郎(二八)は去る十一日まで勿來炭鑛で勞働中同僚花坂政吉の金側腕時計一ケ(價格十一圓)を竊取逃走し何食はぬ顔で四倉に入り込み築港工事に雇はれてゐたのを十七日其筋に捕へられ餘罪ある見込で引續き取調べ中



舊十一月五日 木曜 辛酉 先負 收 斗宿 新十二月二十一日

諸判定總帶 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神部館

▲一白の人 聲譽を大ならしむる日舊恩事を企つるに吉▲二黑の人 浮か〳〵として落付なき爲め益不良となる▲三碧の人 進路を誤り深みに落ち込み易き日家居安全▲四綠の人 目上との反目或は金錢取引上の間違に注意▲五黃の人 緊張味を欠くときは意外の失敗を生ずべし▲六白の人 沈み勝ちに終日を過ごすべき日移轉旅行凶▲七赤の人 人心離反して孤立の狀態となる和同が專一▲八白の人 議論鬪爭或は欲望を失墜せんとす注意肝要▲九紫の人 他事を顧みず定業を堅く守れば平康を保つ

生花教授

小原流盛花瓶華 七年前京都ニ於テ學ビタリシガ此度京都三條六角堂池坊家元ニ參向ヲ機トシ永ラク滯在シテ小原家元執事阿部光山師ニ就キ一日ニ數瓶ヲ重ネ日夜一心ニ研究ヲナシタル結果教授職ヲ免許セラレタリ

池坊生花モ一層斯道ノ研究ヲ重ネ且ツ又新ニ師ニツキ作法付活手前ノ敎ヲ受ケタリ

茶道 遠州流抹茶、賣茶流煎茶ヲ研鑽

橫山美聲 (平町館南町わき)

忘年會 新年會

◉萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕致します

◉御通知下されば當方から御相談に參上仕ります

平町紺屋町 住吉屋本店 電話一五九番

產科 婦人科 外科 藥局

院長 木村寅次郎

醫學博士 內木宗八

藥劑師 玄番彌一

入院隨意 病室完備

平町新川町十九番地 木村病院 電話一六四番